

平成30年度「小・中学校ジョイントスクール推進事業」小中野中学校区実践計画書

事務局 小中野小学校（担当職・氏名：教諭 濱田 俊明）

1 主題（3年次）

『確かな学力と、自尊感情・自己肯定感の育成をめざして』

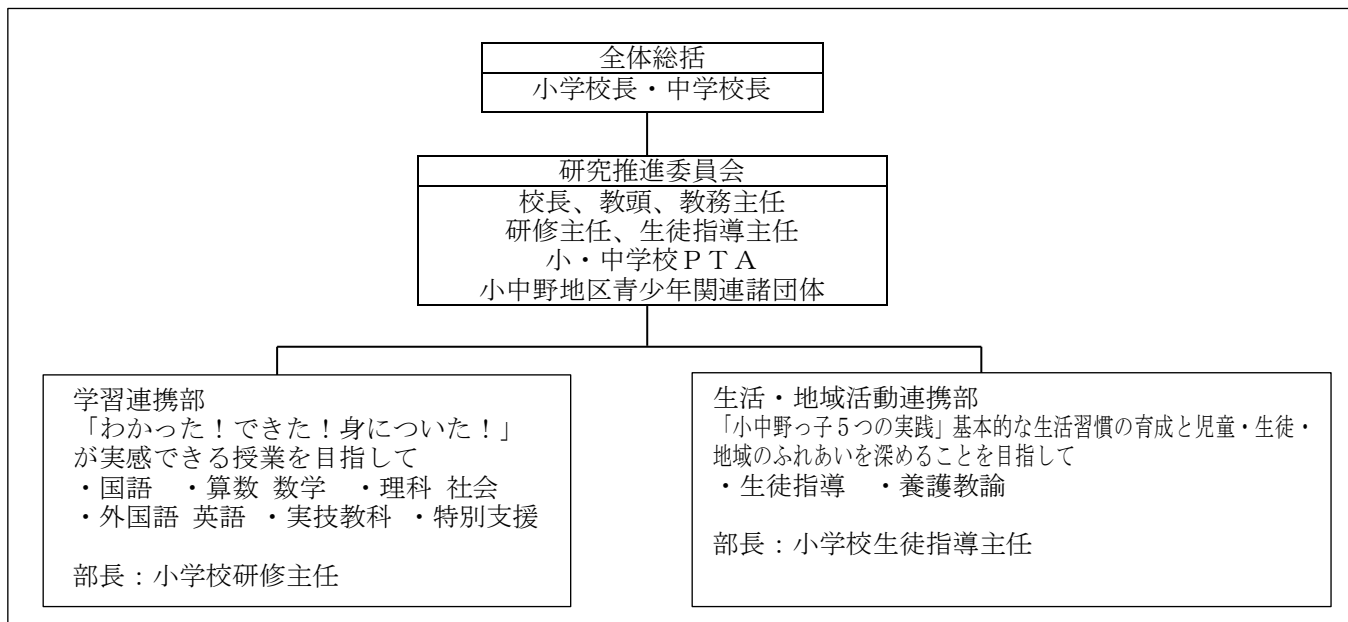
2 主題設定の理由

本中学校区は小学校1校、中学校1校で構成されている。そのため、9年間を通して共通の環境、同じ児童・生徒で学び続けることができる。このことは、児童・生徒が互いに理解し合えたり、地域の方々に継続的に見守られたりすることができるというよさがある。反面、人間関係が固定しやすく、一度人間関係が崩れるとなかなか修復できないという課題がある。転出入の児童・生徒も多いと言えず、新たな人間関係づくりの機会が少ない。基本的な生活習慣や学習習慣を確立できない児童・生徒は減ってきているが、学年が進むにつれて学力の二極化が進んでいる。

このような状況の中で、人間関係づくりやコミュニケーション能力を高めていくことを目指し、自尊感情を高め、児童・生徒のふれあいが深まるような支援を工夫していく必要がある。さらに、基本的な生活習慣や学習習慣の確立のために、小・中相互の実態を把握した上で教職員が共通の問題意識をもち、指導力の向上にも努める必要がある。これらの取組を保護者や地域にも積極的に発信し、協力してもらうことによって、学校・保護者・地域の三者で児童・生徒を育てていきたい。小・中学校が以上の取組について共通理解し、それぞれの役割を認識し、継続的・発展的に行うことによって、一人一人の子どもの成長・発達を図ることができると考え、本主題を設定した。

今年度は引き続き、日常生活の中で自己有用感を持たせる指導の工夫と、家庭学習の定着を図るための家庭学習ノート（コナノート）の活用、基本的な生活習慣確立のための「小中野っ子5つの実践」に取り組んでいく。また、学力向上に向けての学力調査の分析とそれを生かした授業の充実を図るため、学習連携部及び生活・地域活動連携部の分科会を細分化し、小・中学校間の意見交換が活発化するようしていく。

3 小・中学校ジョイントスクール推進事業を推進するための組織



4 中学校区の重点指導項目

小中野中学校区 重点指導項目

- 気持ちのよい返事やあいさつができる
- 話をしっかり聞き取ることができる
- 正しい言葉遣いで、はっきり話すことができる
- 家庭学習ができる

※小中野っ子5つの実践

- ① 元気なあいさつ
- ② 朝ごはんを食べる
- ③ くつをそろえる
- ④ 自分で起きる（小）、6:00～6:30には起きる（中）
- ⑤ 自分の足で登校